

河内長野市報道提供資料

河内長野市木戸西町における PCB 含有油の検出について

1. 概要

河内長野市木戸西町 2 丁目の市道にある通信線専用マンホールから PCB 廃棄物(※)が確認されたとの報告が平成 25 年 11 月 1 日に N T T 西日本から大阪府にありました。

同社は、府の指導により、マンホール中の PCB を含有する油等を 11 月 3 日から 4 日にかけて回収しました。

また、府から水道法の権限を有する河内長野市に情報提供があり、河内長野市は確認場所を中心とした概ね半径 500m の範囲内（以下、「周辺地域」といいます。）の 6 箇所の井戸の所有者に対し、改めて 11 月 1 日に飲用水には安全な水道水を利用するよう指導しました。

現時点において健康被害の情報はありませんので、お知らせします。

マンホール内には油や PCB は通常存在しないことから、府は同社とともに現地調査等を実施したところであり、今後、引き続き原因究明等の調査を行う予定です。

(※)マンホール中に溜まっていた油から PCB が 1.3mg/kg の濃度で検出された。油中の PCB 濃度が 0.5mg/kg を超過した場合、PCB 廃棄物に該当。

2. 検出場所

別添地図参照

3. 今後の対応

大阪府は、関係機関と連携して以下の通り対応します。

- ・地下水の汚染状況を確認するため、周辺地域における井戸水の水質調査の実施
- ・当該マンホールへの油等の浸入のチェック
- ・原因究明の調査及び対策の指導

問い合わせ先

【地下水の水質調査に関すること】

大阪府環境農林水産部環境管理室環境保全課 06-6210-9579(直通)

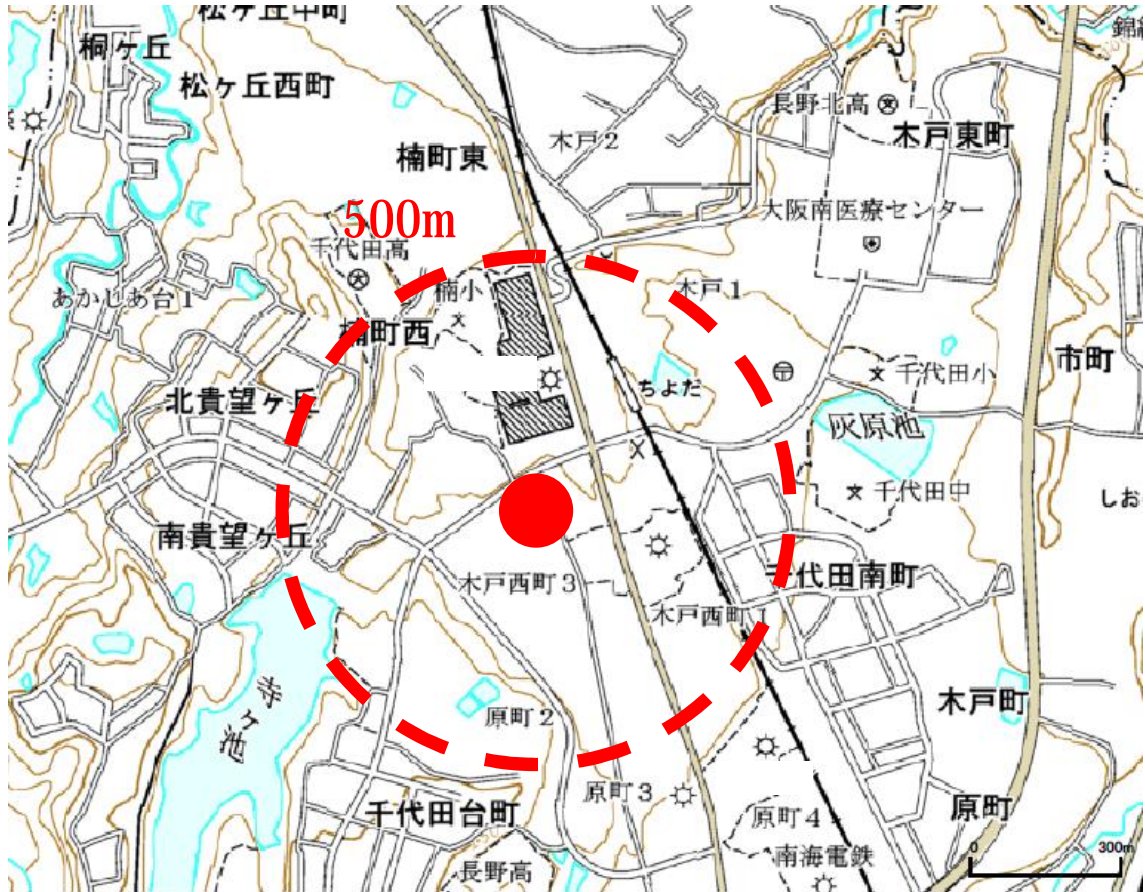
【井戸水の飲用に関すること】

河内長野市環境共生部環境保全課 0721-53-1111

【PCB 廃棄物に係る事業者指導に関すること】

大阪府環境農林水産部環境管理室事業所指導課 06-6210-9583(直通)

周辺地図



確認された物質の性状について

物質名	PCB（ポリ塩化ビフェニル）
土壌溶出量基準	検出されないこと （環境基準値、土壌汚染対策法指定基準）
地下水基準	検出されないこと
環境中での動き	土壌中では移動性は小さく、汚染拡散の程度は低いと考えられますが、化学的に安定で生分解性も低いため、長期間環境中に残留するとされています。
用途	主な用途は絶縁体、熱媒体、可塑剤、感圧紙などで、トランスやコンデンサに多く使われてきました。
健康影響	短期的なばく露影響としては、眼を刺激することがあります。反復又は長期にわたる皮膚との接触により、皮膚炎、塩素座そうを起こすことがあります。また、長期的な摂取により、脂肪に蓄積し、皮膚障害、肝障害、浮腫、視力低下、手足のしびれなどを起こすことがあります。
備考	通常の焼却や微生物処理などによる分解は困難です。ポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管、処分等については、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」が別に定められています。